

DNP

DIGITAL PHOTO PRINTER

DS-RX1 HS

DS-RX1

プリンタドライバ 取扱説明書

For Windows 7, 8, 10

●安全上の注意に関して

ご使用の前にプリンタのユーザーズマニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。また使用上のご注意や安全上のご注意等、安全に関するユーザーズマニュアルが作成された時点での基準に応じた内容となっておりますのでご了承ください。

●改造に関して

DS-RX1 プリンタ及び DS-RX1 プリンタドライバとCDの内容物について、製品安全の為、改造することを禁止します。

●著作権に関して

この製品に付属する文書、プログラム等に関する著作権、商標権その他一切の知的財産権は大日本印刷株式会社またはその他の権利者に帰属しています。 適用法令上許容される場合を除き、大日本印刷株式会社の承諾を得ることなく、これらを複製等して使用することはできません。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

LEADTOOLS Copyright (C) 2008 LEAD Technologies, Inc.

The ICC profile is prepared by the technology of X-Rite.

目次

第1章 インストール	1
1.1 プリンタとパソコン本体の準備	2
1.2 ドライバパッケージのインストール	2
1.3 プリンタドライバのインストール	5
1.4 未指定デバイスのドライバインストール	9
第2章 プロパティ	12
2.1 プリンタのプロパティの起動	12
2.2 印刷設定機能説明	14
2.2.1 レイアウト	14
2.2.2 詳細オプション	15
2.2.3 用紙／品質	19
2.2.4 用紙オプション	19
2.2.5 色調整	20
2.3 各設定項目の初期値	21
2.4 色の管理	22
2.5 画像サイズ	23
2.6 印刷の向き	24
第3章 ドライバ更新の方法	25
第4章 ドライバ削除の方法	32

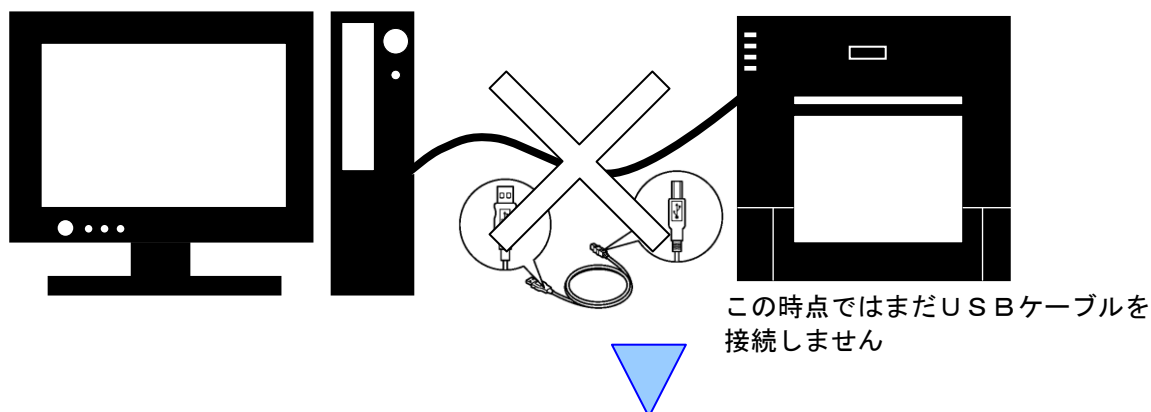
第1章 インストール

インストール手順の流れ

インストールの手順は、以下の3ステップとなります。
各ステップの詳細は以降で説明しています。

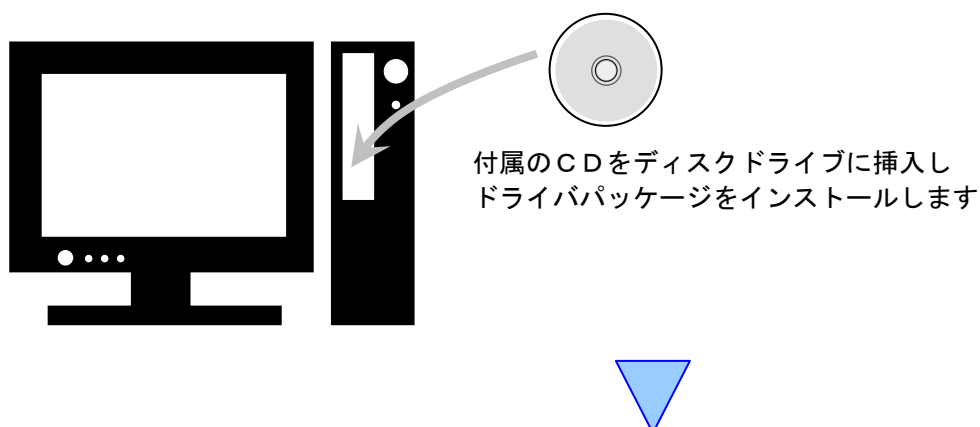
ステップ1 プリンタとパソコンを準備する

→『1.1 プリンタとパソコン本体の準備』



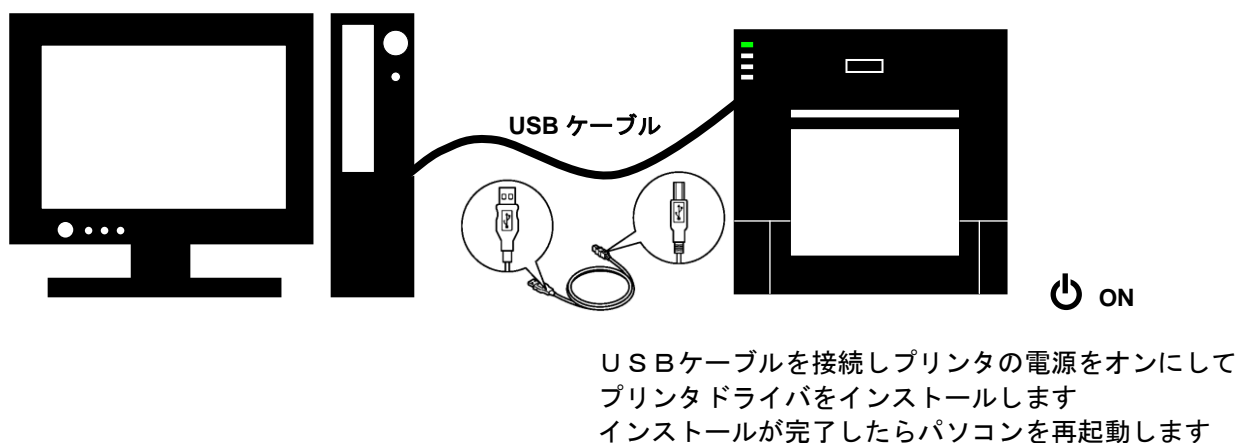
ステップ2 ドライバパッケージをインストールする

→『1.2 ドライバパッケージのインストール』



ステップ3 プリンタドライバをインストールする

→『1.3 プリンタドライバのインストール』



1.1 プリンタとパソコン本体の準備

DS-RX1 プリンタの電源がオフになっていることを確認して下さい。

USB ケーブルを用意して下さい。但し、この時点では、USB ケーブルをプリンタとパソコンに接続しないで下さい。

Windows には管理者権限のある状態でログインして下さい。以降の説明では、管理者権限で操作されることを前提としています。

1.2 ドライバパッケージのインストール

付属の CD をディスクドライブに挿入して下さい。

エクスプローラーを起動して、対象ドライブをクリックして下さい。

(自動再生が有効の場合「フォルダを開いてファイルを表示 -エクスプローラー使用」を選択して下さい)

(Windows 8 及び 10 で自動再生が有効の場合「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」というメッセージをクリックし、「フォルダを開いてファイルを表示 エクスプローラー」を選択して下さい)

付属 CD の以下のフォルダを選択して下さい。※必ず、ご使用の環境に合ったフォルダを選択して下さい。

Windows 7 ... CD ドライブ:¥DS-RX1_Driver¥Japanese¥7

Windows 8 ... CD ドライブ:¥DS-RX1_Driver¥Japanese¥8

Windows 10 ... CD ドライブ:¥DS-RX1_Driver¥Japanese¥10

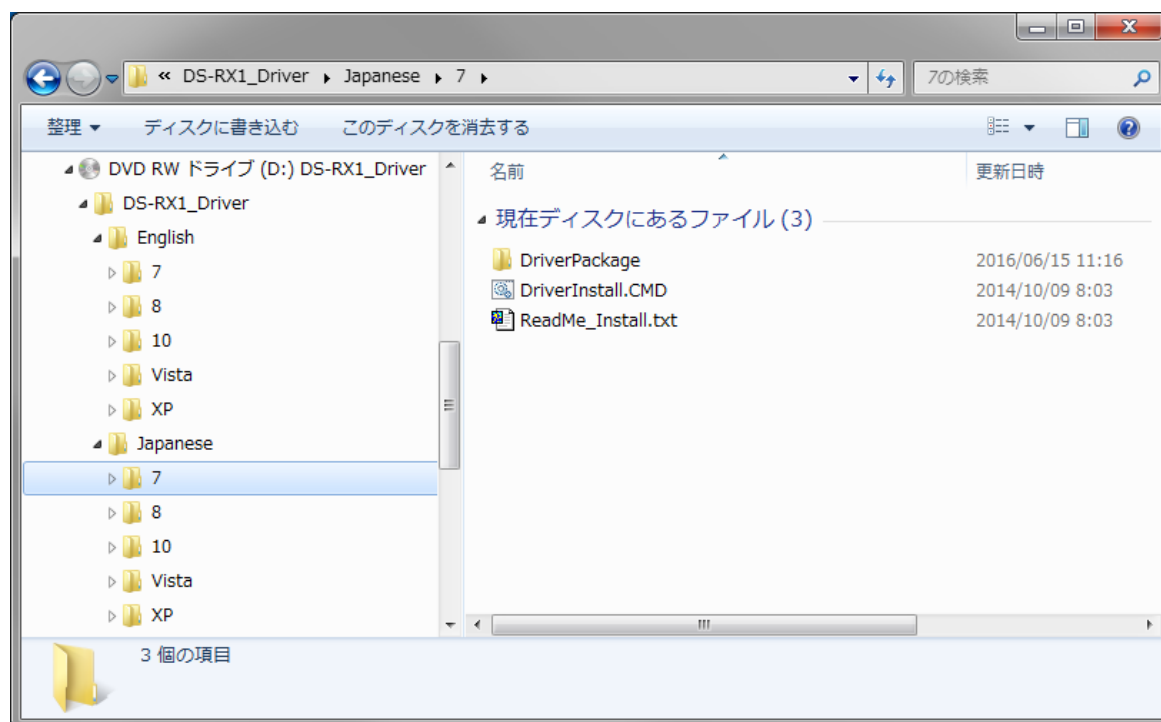


図 1.1 ドライバパッケージフォルダ

選択したフォルダ内のファイル DriverInstall.CMD をダブルクリックして下さい (ご使用の環境によっては拡張子 .CMD が表示されない場合があります)。

ご使用の OS (32 または 64 ビット) に適したドライバパッケージインストーラーが自動的に選択されます。

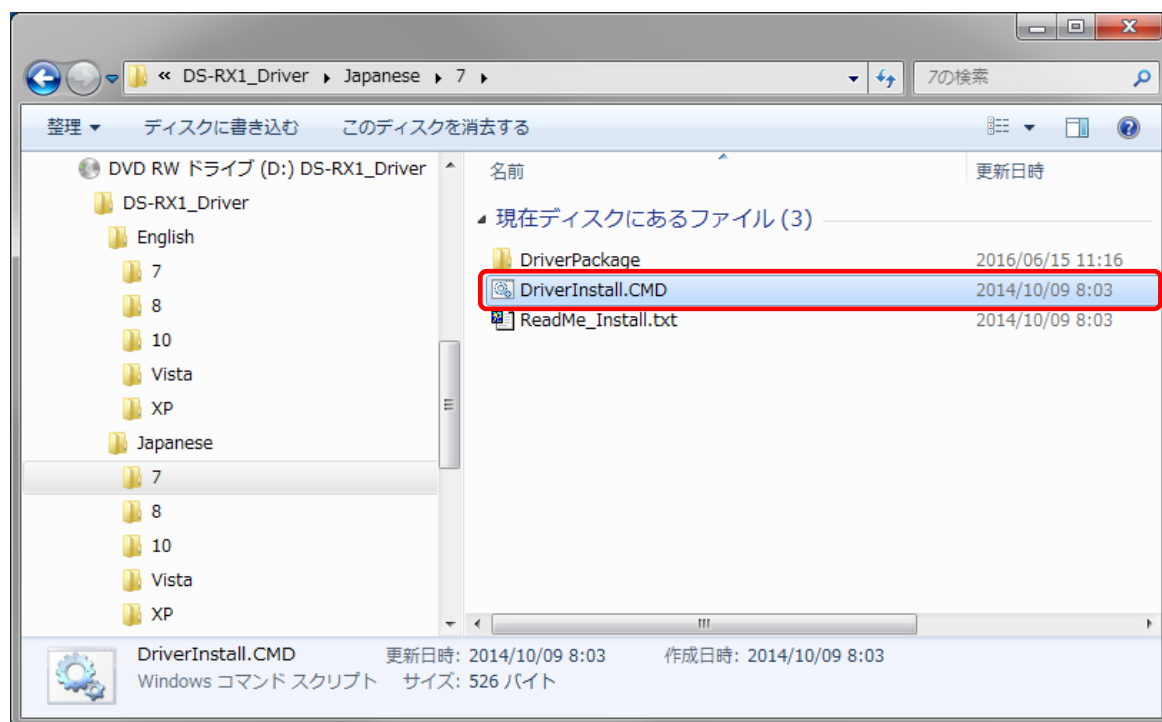


図 1.2 インストールファイル

ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」をクリックして下さい。

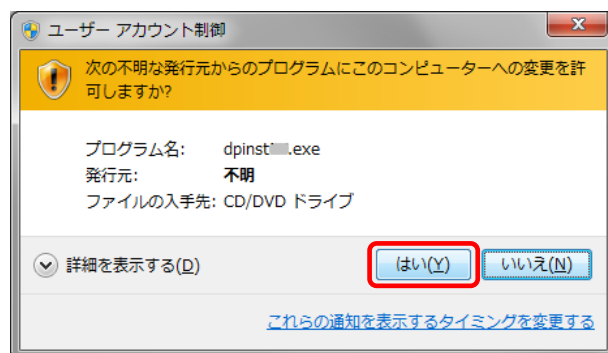


図 1.3 ユーザーアカウント制御

「デバイスドライバのインストールウィザードの開始」画面が表示されたら、「次へ(N)>」をクリックして下さい。

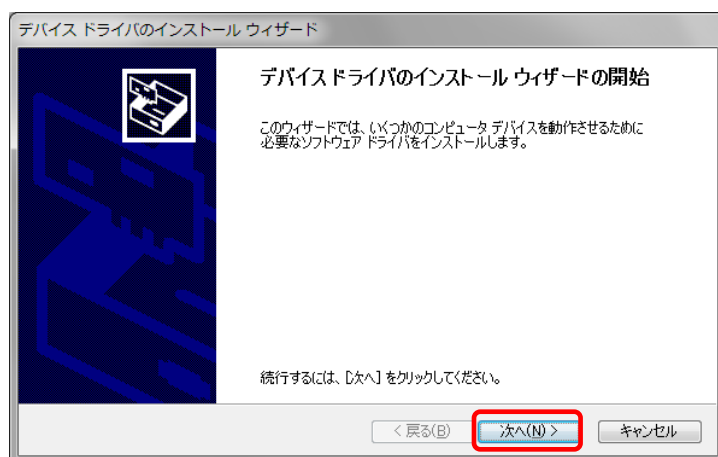


図 1.4 インストールウィザードの開始

Windows セキュリティ確認の画面が表示されたら、「インストール(I)」をクリックして下さい。



図 1.5 Windows セキュリティの確認

ドライバパッケージのインストールが開始されます。完了するまで、そのまましばらく待ちます。
「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックして下さい。



図 1.6 インストールウィザードの完了

1.3 プリンタドライバのインストール

USB ケーブルでプリンタとパソコン本体を接続して、プリンタの電源をオンにしてください。
プリンタを認識して、ドライバのインストールが開始されます。
※接続に関しては DS-RX1 プリンタのユーザーズマニュアルをご参照下さい。

ドライバのインストールが開始されると、タスクバーに「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」のメッセージが吹き出し表示されます。

Windows 8 及び 10 では吹き出し表示されません。7 ページに進んで下さい。

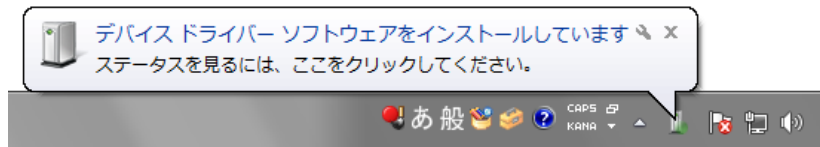


図 1.7 ドライバインストールのメッセージ

この吹き出し表示エリアをクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が開き、ドライバのインストール状況が表示されます。「閉じる (C)」をクリックすると、この画面が閉じられます。

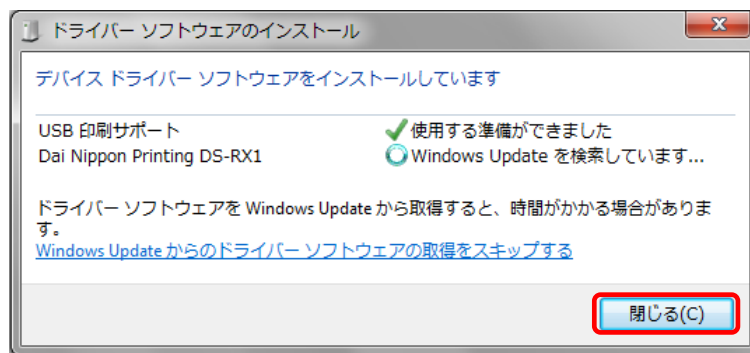


図 1.8 ドライバーソフトウェアのインストール

※「Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」について
ご使用 OS が、ドライバーソフトウェアを Windows Update から取得する設定になっていると、最初に Windows Update からドライバを検索するため、インストール完了までに時間がかかります。Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップすることで、インストール完了までの時間を短縮できます（ご使用環境によっては、インストール完了までに時間がかかる場合があります）。

「ドライバーソフトウェアのインストール」画面の「Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」をクリックして下さい。

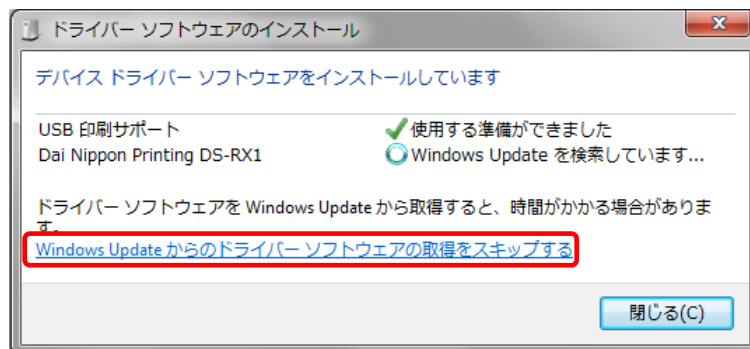


図 1.9 Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得スキップ

確認画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックして下さい。

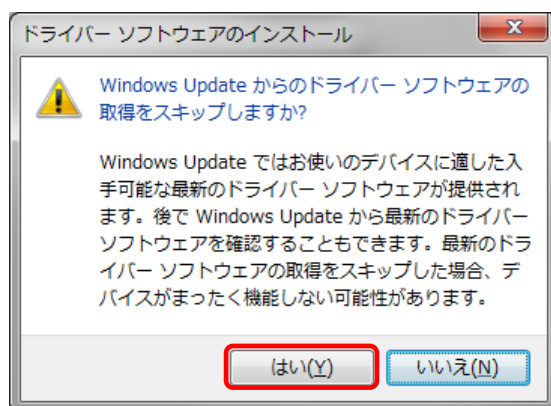


図 1.10 Windows Update からのドライバーソフトウェア取得スキップ確認

インストール開始からしばらくすると、タスクバーに「デバイスを使用する準備ができました」のメッセージが吹き出し表示され、プリンタドライバのインストールが完了します。

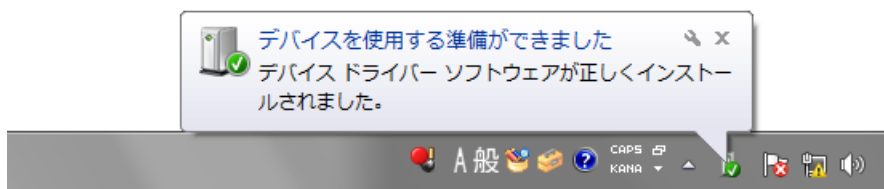


図 1.11 ドライバインストール完了のメッセージ

この吹き出し表示エリアをクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が開き、「デバイスを使用する準備ができました」と表示されます。「閉じる(C)」ボタンをクリックして下さい。

(インストール開始時から「ドライバーソフトウェアのインストール」画面を開いていた場合は、上記の吹き出しは表示されません)

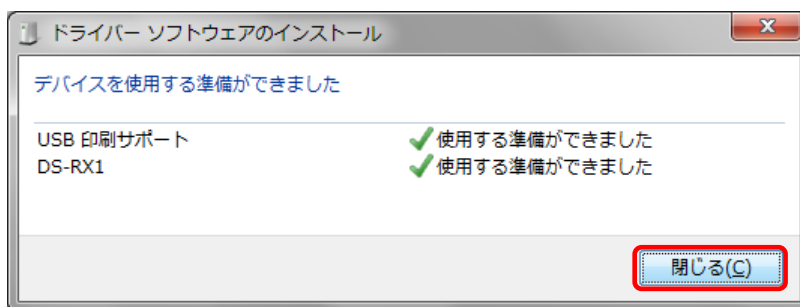


図 1.12 ドライバーソフトウェアのインストール完了

「スタート」-「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開いて下さい。

Windows 8 では、スタート画面を右クリックして右下の「すべてのアプリ」を選択し、「コントロールパネル」を選択して下さい。

Windows 10 では、スタートを右クリックし「コントロールパネル」を選択してください。

コントロールパネルの「デバイスとプリンターの表示」をクリックして下さい。



図 1.13 コントロールパネル

デバイスとプリンター画面にて DS-RX1 が表示されていることを確認して下さい。

注意：Windows 8 及び 10 では、プリンタがオフラインの場合（電源をオンにしたプリンタが接続されていない場合）は DS-RX1 のアイコンが表示されません。

これで DS-RX1 のプリンタドライバのインストールは完了です。

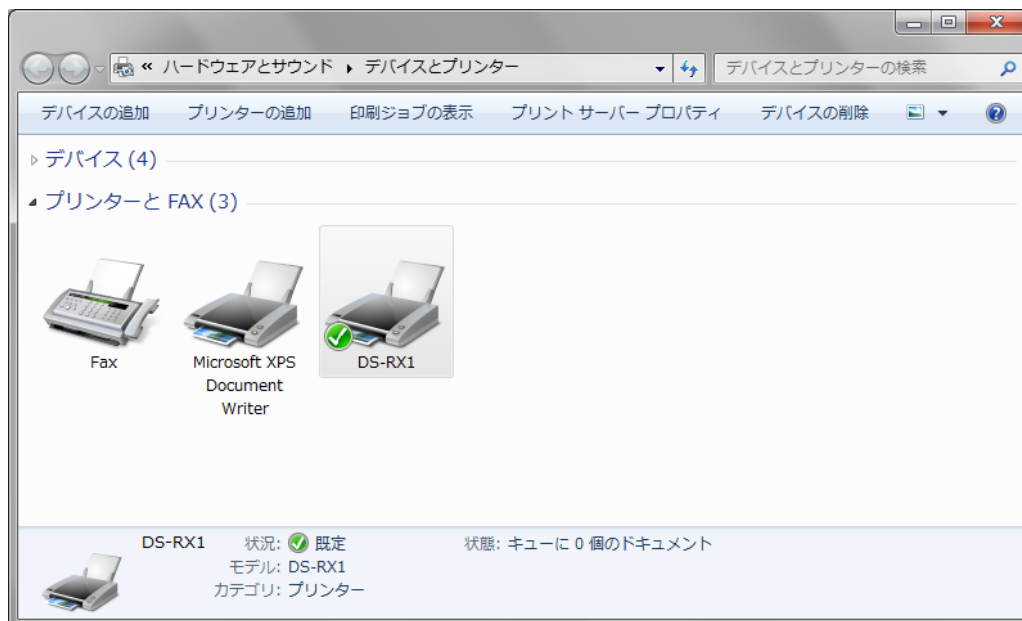


図 1.14 デバイスとプリンター画面

プリンタドライバのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。

DS-RX1 プリンタドライバが正しくインストールできなかった場合は、タスクバーに「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」のメッセージが吹き出し表示されます。

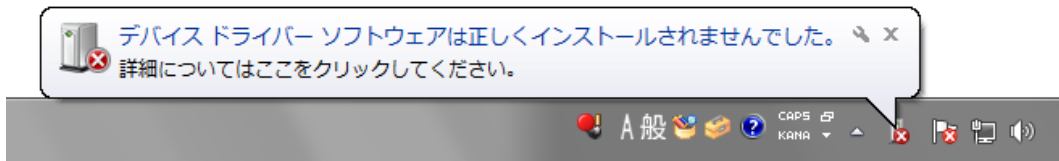


図 1.15 ドライバがインストールされなかったメッセージ

この吹き出し表示エリアをクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が開き、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」と表示されます。「閉じる(C)」ボタンをクリックして下さい。(インストール開始時から「ドライバーソフトウェアのインストール」画面を開いていた場合は、上記の吹き出しは表示されません)

ドライバを正しくインストールできなかった場合は、次の「1.4 未指定デバイスのドライバインストール」を参照して、プリンタドライバをインストールして下さい。

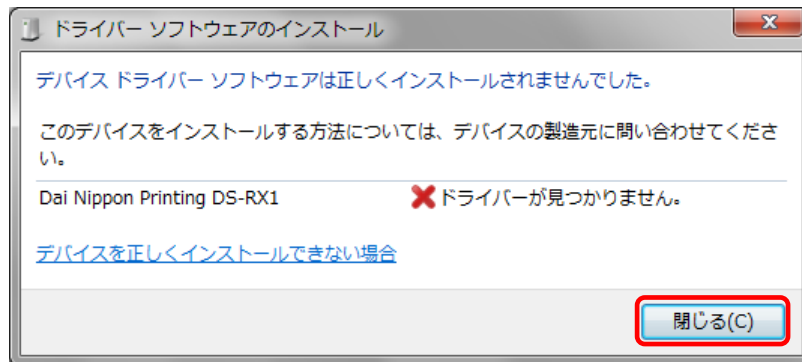


図 1.16 ドライバが正しくインストールされなかった場合

1.4 未指定デバイスのドライバインストール

ドライバパッケージをインストールする前に、プリンタの電源を入れたままパソコンと接続すると、「デバイスとプリンター」に「未指定」のデバイスが作成されます。このような場合は、以下の方法でプリンタドライバをインストールして下さい。

また、ドライバパッケージをインストール後にプリンタを接続してプリンタドライバをインストールする通常の手順で、正しくドライバがインストールされず「未指定」のデバイスが作成された場合も、以下の方法でプリンタドライバをインストールして下さい。

1. ドライバパッケージのインストール

まだドライバパッケージをインストールしていない場合には、「1.2 ドライバパッケージのインストール」の手順に従ってインストールして下さい。

ドライバパッケージをインストールすると、未指定デバイスへのプリンタドライバのインストールが自動的に完了する場合があります。

2. 未指定デバイスへのドライバインストール

「デバイスとプリンター」の「未指定」デバイスの「Photo Printer」を右クリックし、プルダウンメニューの「トラブルシューティング(T)」をクリックして下さい。

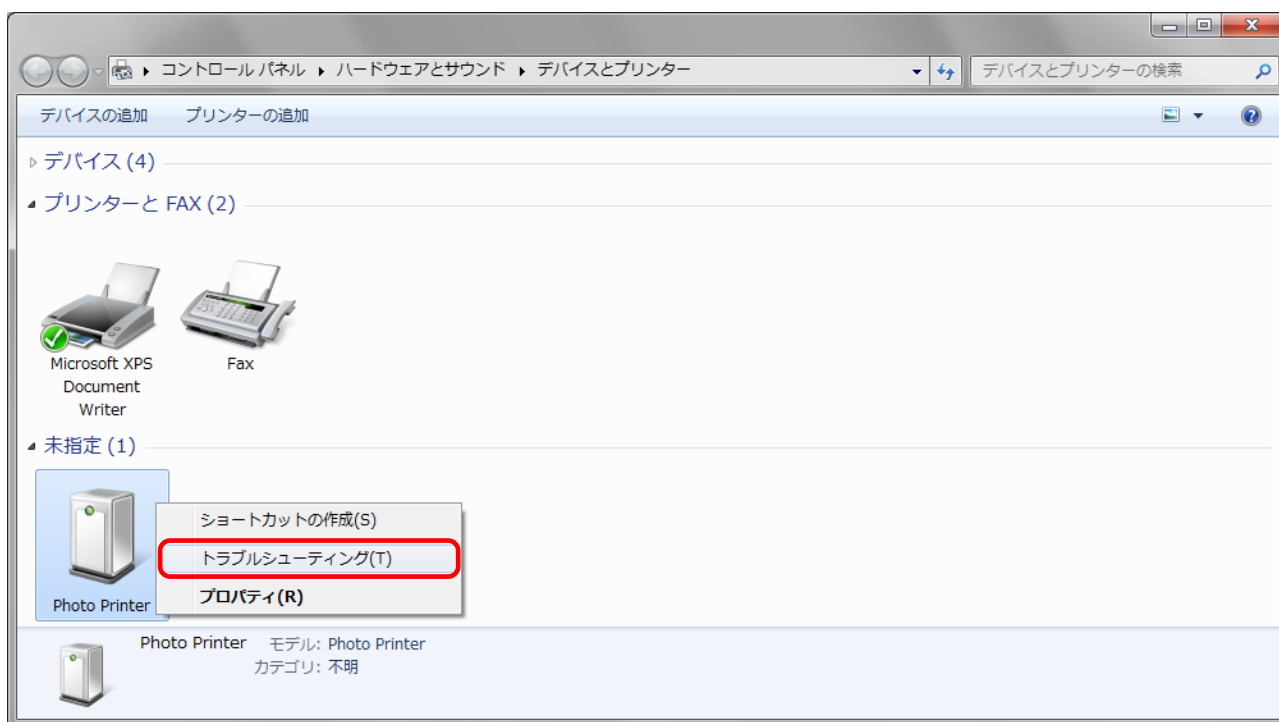


図 1.17 未指定デバイスの Photo Printer

「このデバイスのドライバーをインストール」画面が表示されたら、「この修正を適用します」をクリックして下さい。ドライバが自動検索され、インストールが行われます。

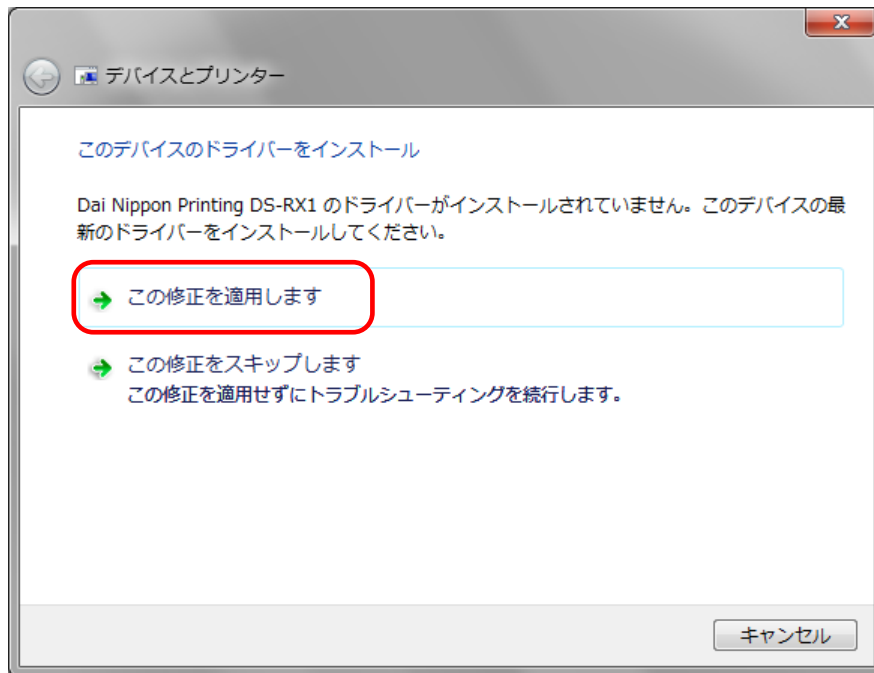


図 1.18 修正の適用

ドライバがインストールされると、「トラブルシューティングが完了しました」と表示されます。「トラブルシューティングツールを終了する」をクリックして、トラブルシューティングを終了して下さい。

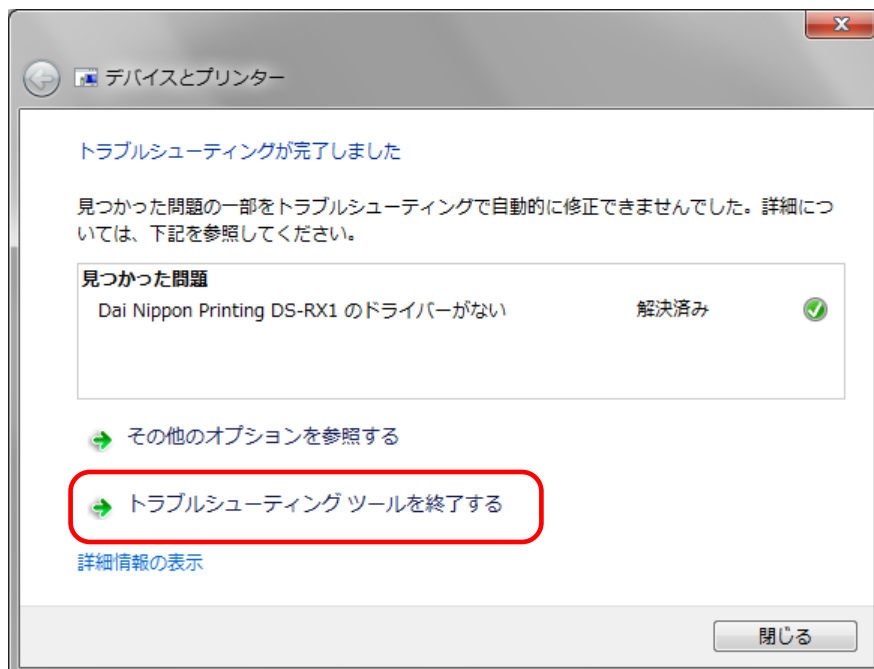


図 1.19 トラブルシューティングの完了

デバイスとプリンター画面にて DS-RX1 が表示されていることを確認して下さい。

注意：Windows 8 及び 10 では、プリンタがオフラインの場合（電源をオンにしたプリンタが接続されていない場合）は DS-RX1 のアイコンが表示されません。

これで DS-RX1 のプリンタドライバのインストールは完了です。

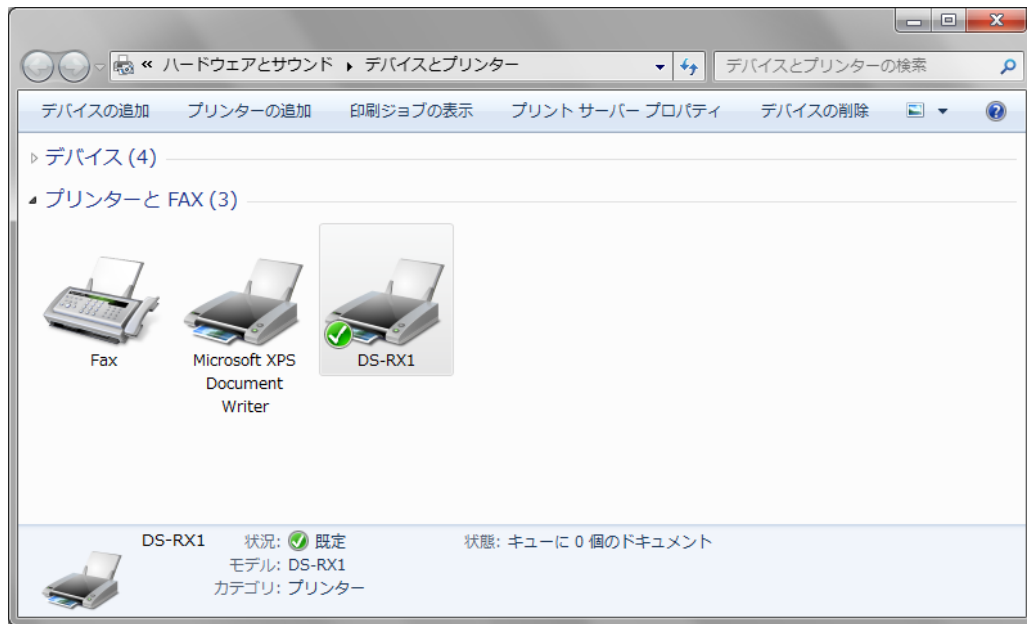


図 1.20 デバイスとプリンター画面

プリンタドライバのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。

第2章 プロパティ

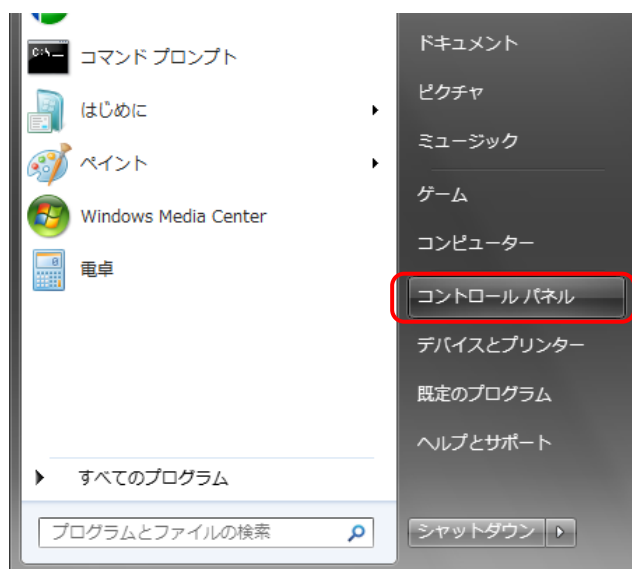
DS-RX1 ドライバのプロパティより、各種プリンタ設定ができます。操作する場合は内容を良く理解した上で使用して下さい。使用は管理者権限でログインして行ってください。ご使用のアプリケーションによっては、アプリケーション側の印刷設定からの操作が必要です。

2.1 プリンタのプロパティの起動

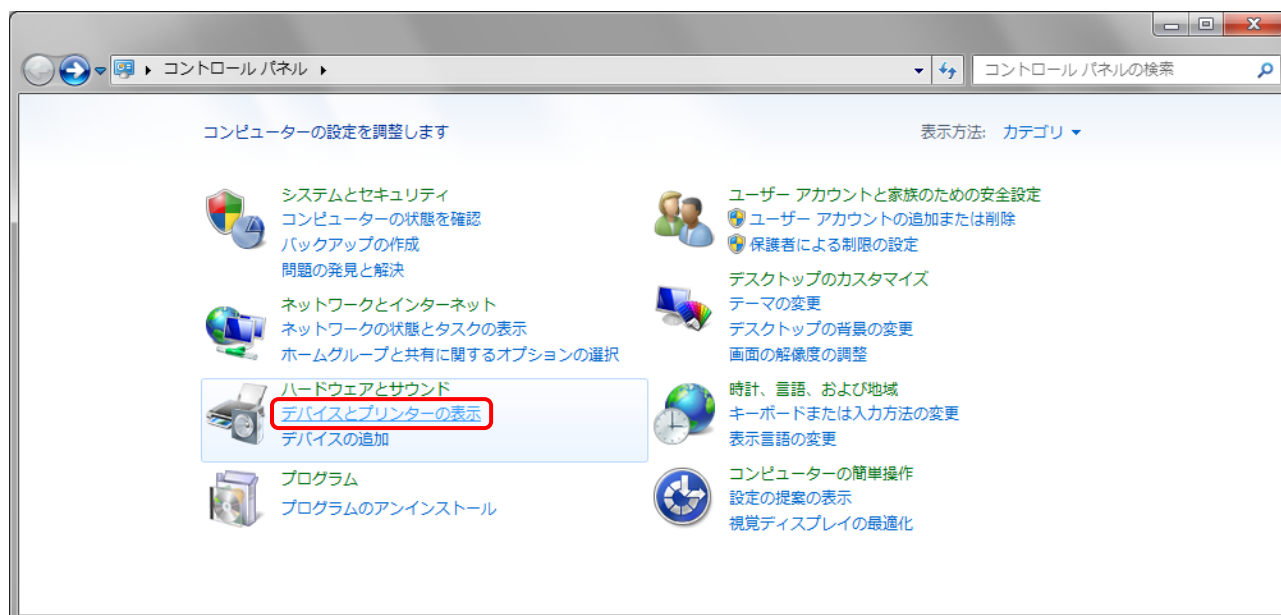
1. スタート⇒コントロールパネル⇒コントロールパネルを起動

Windows 8 では スタート画面を右クリック ⇒すべてのアプリ⇒コントロールパネル⇒コントロールパネルを起動

Windows 10 では、スタートを右クリック⇒コントロールパネル⇒コントロールパネルを起動



2. コントロールパネルから デバイスとプリンターの表示 を選択⇒デバイスとプリンター画面を起動

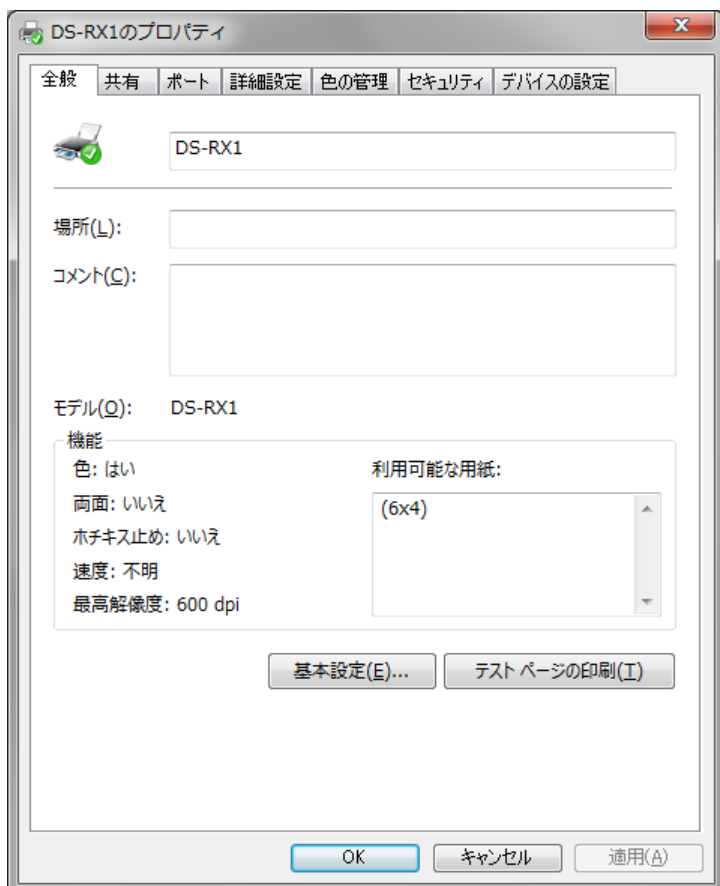


3. DS-RX1 のアイコン上で右クリックをし、プルダウンメニューから プリンターのプロパティ (P) を選択⇒
プロパティ画面を起動

注意 : Windows 8 及び 10 では、プリンタがオフラインの場合 (電源をオンにしたプリンタが接続されていない場合) は DS-RX1 のアイコンが表示されません。



4. DS-RX1 のプロパティ画面が立ち上がります



2.2 印刷設定機能説明

プロパティ画面から基本設定を選択すると、各種印刷設定が出来ます。

2.2.1 レイアウト

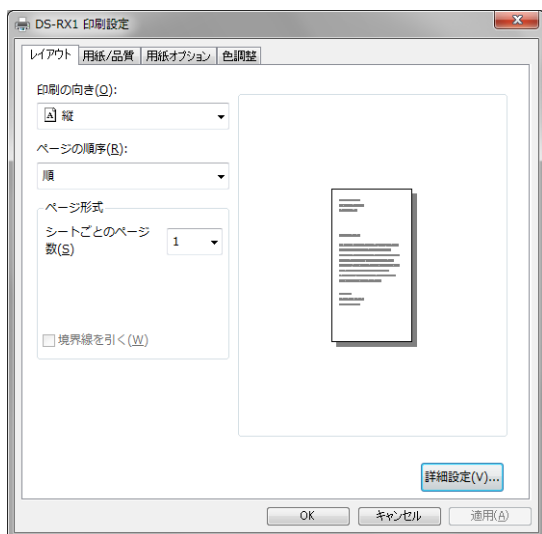


図 2.2.1 レイアウトタブ

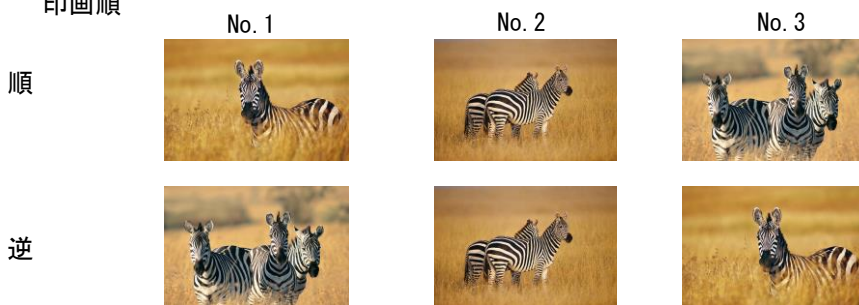
印刷の向き

印刷向きの縦、横指定をします。
詳細は [2.6 印刷の向き](#) を参照して下さい。

ページの順序

アプリケーションで、画像を複数枚印画させた場合の順序を指定します。

例) 印画順



シートごとのページ数

指定分割サイズの印画をします。通常は 1 を指定して下さい。
(1 以外を指定する場合は、印刷品質設定を 300x300dpi または 600x600dpi にしてご使用ください)

例) 分割サイズ



2.2.2 詳細オプション

レイアウトの詳細設定 (V) を選択すると、詳細オプションにて各種設定が可能となります。

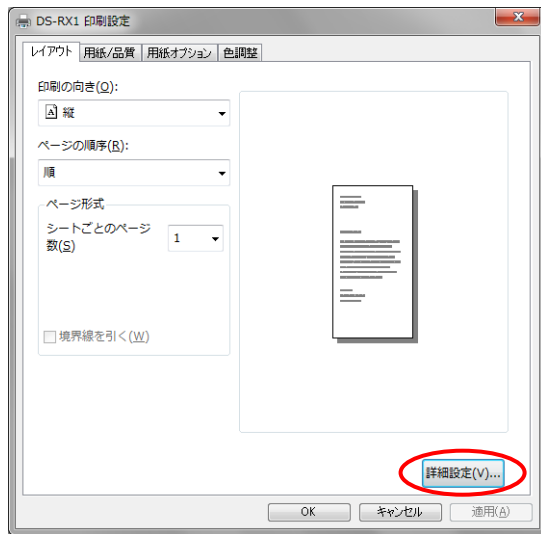


図 2.2.2.1 詳細設定

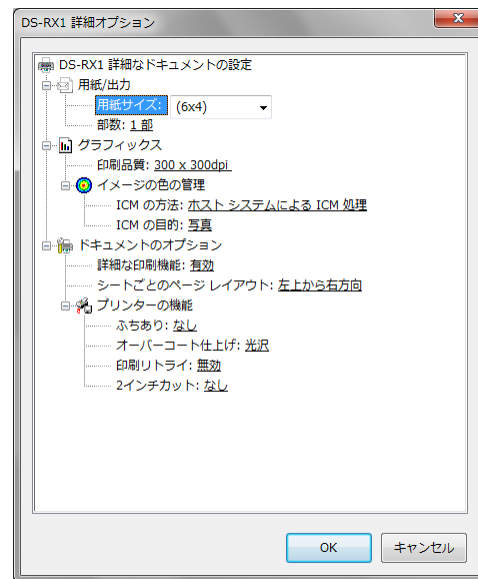


図 2.2.2.2 詳細オプションタブ

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。用紙サイズはプリンタに装着されているメディアサイズに合わせて下さい。
用紙サイズの指定により多面割付が可能となります。詳細は後述を参照して下さい。

部数

画像の発行枚数を指定出来ます。

印刷品質

解像度を指定します。

印刷品質	機能
300 x 300dpi	高速モードで印刷
300 x 600dpi	高画質モードで印刷 ※縦横で異なる解像度を設定できないアプリケーションでは 600x600dpi 設定でご使用ください ※Windows 8 及び 10 でプリンタのプロパティの「テストページの印刷」を行った場合、OS の仕様により、プリンタマークの縦横比が異なって印刷されます
600 x 600dpi	高画質モードで印刷 (ドライバ内で 300x600dpi サイズに変換してプリンタへ送信します)

ICM の方法

ICM の方法	機能
ICM 無効	2.2.4 用紙オプションの“色調整なし”と同期しています。
ホストシステムによる ICM 処理	2.2.4 用紙オプションの“色調整 ICM”と同期しています。 ドライバでカラーマネージメントを行います。
プリンタによる ICM 処理	この項目を選択した場合“ホストシステムによる ICM 処理”と同じになります。

ICM の目的

ICM を使用する際のレンダリングの方法を指定します。DS-RX1 の ICC プロファイルでは常に“写真”を指定して下さい。他の設定では使用しないで下さい。

詳細な印刷機能

常に“有効”として下さい。他の設定では使用しないで下さい。

シートごとのページレイアウト

シートごとのページ数設定を複数分割としたときの、画像のレイアウト方向を指定します。

ふちあり

用紙オプションのふちありと同期しています。

オーバーコート仕上げ

印画物表面のオーバーコート仕上げ方法を次の 2 種類から指定します。

オーバーコート仕上げ	機能
光沢	光沢タイプの印画物に仕上がります。
マット	つや消しタイプの印画物に仕上がります。

印刷リトライ

プリンタにエラーが発生したときのプリンタバッファ内の印画データを、エラー解除後に印刷するかしないかを設定します。

印刷リトライ	機能
無効	プリンタエラー時のプリンタバッファ内の印画データをクリアします。 エラー解除後、クリアされた印画データを再送信して下さい。 エラーリカバリー機能があるアプリケーションをご使用の際は、こちらを選択して下さい。
有効	プリンタエラー時のプリンタバッファ内の印画データを保持します。 エラー解除後、保持しているデータから印刷処理を再開します。 但し、電源を OFF した場合、データは保持されません。

プリンタエラーの内容によっては、エラー解除にプリンタの電源再投入が必要となる場合があります。この場合は、印刷リトライの設定に関係なく、プリンタバッファ内の印画データはクリアされます。以下に、各エラーでの印刷リトライ設定別動作を示します。

エラー内容	印刷リトライ機能「無効」設定時	印刷リトライ機能「有効」設定時
ペーパーエンド	エラー解除後、印刷されなかった画像データは再送信してください。	エラー解除後、プリンタバッファ内に保持しているデータから印刷処理を再開します。 用紙初期化動作が行われる場合は、用紙初期化動作後に印刷されます。
リボンエンド		
カバーオープン		
ペーパージャム (*1)		
リボンエラー (*1)		
用紙設定ミス	エラー解除にはプリンタの電源を一度 OFF にする必要があるため、印刷リトライ機能の設定に関係なくプリンタバッファ内の印画データはクリアされます。	エラー解除にはプリンタの電源を一度 OFF にする必要があるため、印刷リトライ機能が「有効」に設定されていても、プリンタ電源 OFF により印画データはクリアされます。
データエラー		
ヘッド位置エラー		
電源ファン停止		
カッターエラー		
ヘッド電圧異常	プリンタ再起動後、印刷されなかった画像データは再送信してください。	プリンタ再起動後、印刷されなかった画像データは再送信してください。
ヘッド温度異常		
メディア温度異常		
リボンテンションエラー		
RFID モジュールエラー		
システムエラー		

*1: エラー停止後、プリンタのユーザズマニュアルに従って、用紙またはリボンのエラー要因を取り除いてください。

2 インチカット (ご使用プリンタのファームウェアバージョンによっては「なし」のみの動作となります。)

特定の用紙サイズのときに、2 インチの長さで複数枚にカットするかしないかを設定します。

2 インチカット	機能
なし	通常のサイズでカットします。
あり	(6x4), PR(4x6) サイズの場合は 2 枚に、(6x8) サイズの場合は 4 枚に、2 インチ単位の長さでカットします。

<多面割付>

DS-RX1 で 6x8 のメディアを使用した場合、2 画面の割付が可能です。プリンタドライバの用紙指定で多面割付指定が可能となります。画像サイズは次のようになります。

割付指定

ドライバ用紙設定	用紙の向き	画像サイズ 幅 x 高さ (mm)	使用メディア
(6x4) x 2	縦	(156.1x105.0) x 2	6x8
	横	(105.0x156.1) x 2	
PR (4x6) x 2	縦	(105.0x156.1) x 2	6x8
	横	(156.1x105.0) x 2	
画像の割付け中間サイズ		2.54	

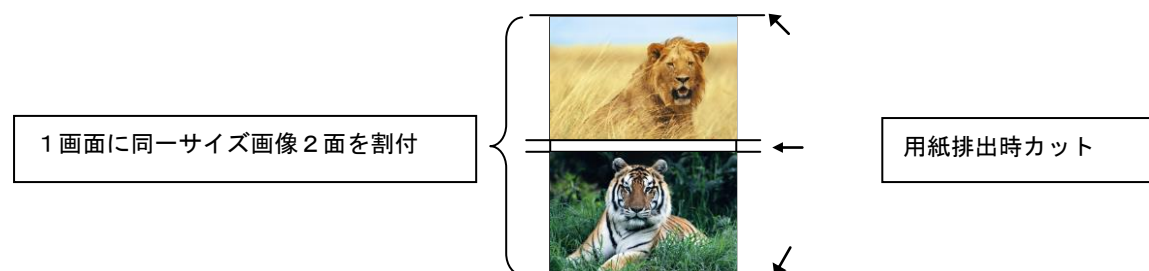
多面割付は以下の条件で動作します。

1. プリンタに 6x8 サイズのメディアを搭載。
2. プリンタドライバの用紙サイズ指定を上記の用紙サイズに指定。
3. アプリケーションから複数の画像を送信。

注) 多面割付は印刷のジョブ単位で行うため、1 ジョブ内に複数のページが有る場合に動作します。
同一画像を割付けたい場合は枚数設定分画像を送信して下さい。
プリンタの動作は 1 度に 2 画面分行われ、用紙排出時にカットを行います。

<多面割付のパターン>

多面割付のパターンは、次のようになります。



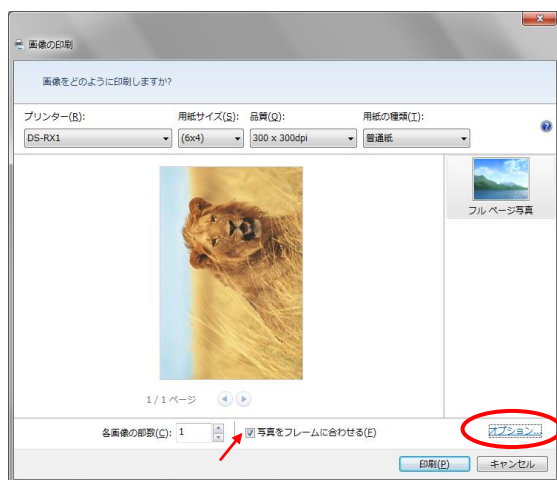
＜アプリケーション使用例＞

Windows エクスプローラでの使用例です。

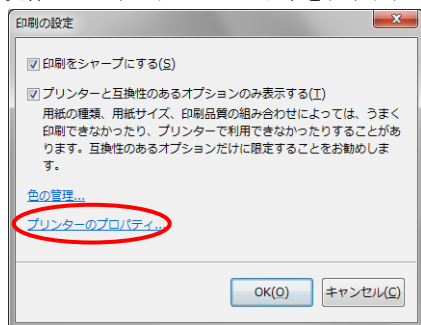
手順 1. エクスプローラで画像を 2 画面以上選択します。
⇒印刷をクリックします。



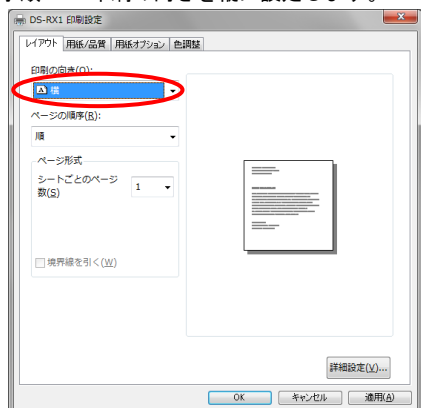
手順 2. 写真をフレームに合わせるをチェックし、オプションをクリックします。



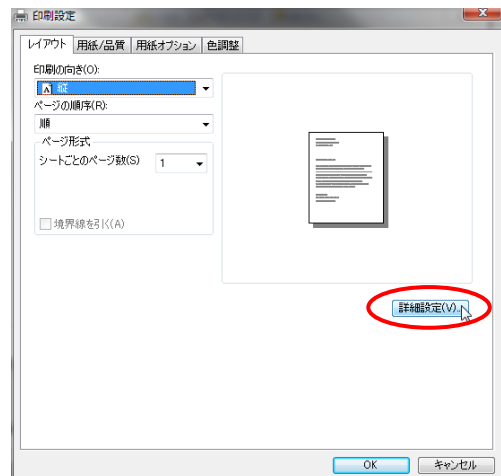
手順 3. プリンタのプロパティをクリックします。



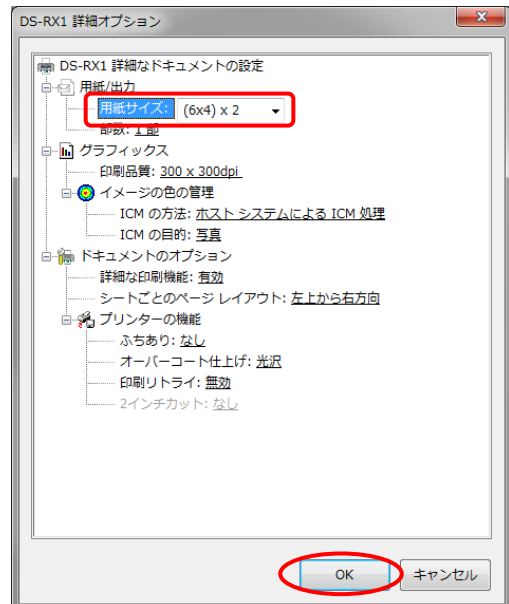
手順 4. 印刷の向きを縦に設定します。



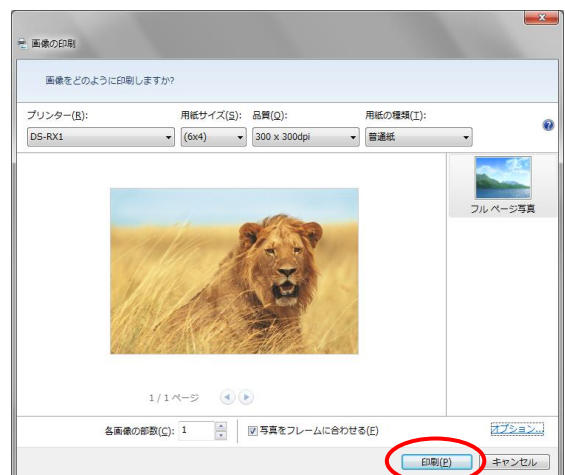
手順 5. 詳細設定ボタンをクリックします。



手順 6. 用紙サイズを" (6x4) x2" に設定します。
6⇒5 の順に OK を押して 2. の表示まで戻ります。



手順 7. 印刷ボタンをクリックします。



2.2.3 用紙／品質

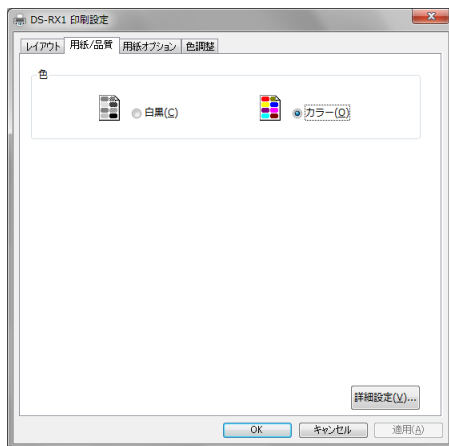


図 2.2.3 用紙／品質タブ

色 カラー固定として下さい。白黒では使用しないで下さい。

2.2.4 用紙オプション

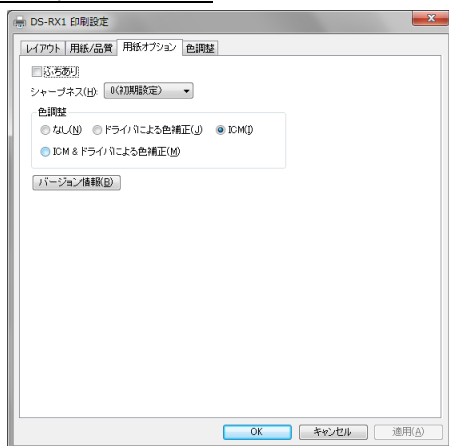


図 2.2.4.1 用紙オプションタブ

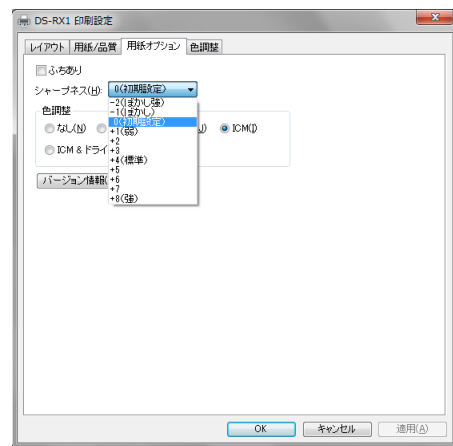


図 2.2.4.2 シャープネスの設定

ふちあり

印画のふちあり/なしを指定します（チェックがふちあり）。詳細設定のふちあり/なしと同期しています。

シャープネス

11 段階でシャープネス処理を行います（図 2.2.4.2）。0（初期設定）はシャープネス処理を行いません。

マイナス（－）側はぼかし、プラス（＋）側はシャープネス処理を行います。

色調整

なし

詳細設定の ICM の方法と同期しています。この項目をチェックすると ICM 無効で、色調整タブも無効となりドライバでの色調整は行いません。

ドライバによる色補正

この項目をチェックすると ICM が無効となり、2.2.5 色調整が有効となります。ガンマ、ブライトネス、コントラスト、彩度の各項目の調整値が反映されます。

ICM

詳細設定の ICM の方法と同期しています（ホストシステムによる ICM 処理）。ここをチェックするとドライバにてカラーマネージメントを行います。

ICM & ドライバによる色補正

この項目をチェックすると ICM（カラーマネージメント）と 2.2.5 色調整が有効になります。

バージョン情報

ドライバのバージョンを表示します。

2.2.5 色調整

2.2.4 用紙オプションの ドライバによる色補正 をチェックすると、色調整タブの各種調整値が画像に反映されます。



図 2.2.5 色調整タブ

色調整タブでの設定範囲は以下のようになります。

調整項目	調整値
ガンマ	-100 (暗) ~ 100 (明) (0 は調整無し、 γ 2.0 ~ 0.5) 画像の中間調部の濃度を調整します。ガンマの値が大きい程、中間調部が明るくなります。 同期チェックボックス ON : RGB を同じ値に設定します。 OFF : RGB を異なった値に設定します。
ブライトネス	-100 (暗) ~ 100 (明) (0 は調整無し) 画像のブライトネスを調整します。値が大きい程、画像全体が明るくなります。 同期チェックボックス ON : RGB を同じ値に設定します。 OFF : RGB を異なった値に設定します。
コントラスト	-100 (弱) ~ 100 (強) (0 は調整無し) 画像のコントラストを調整します。値が大きい程、明暗の差が広がります。 同期チェックボックス ON : RGB を同じ値に設定します。 OFF : RGB を異なった値に設定します。
彩度	-100 (弱) ~ 100 (強) (0 は調整無し) 画像の彩度を調整します。

2.3 各設定項目の初期値

各設定の初期値（インストール時の設定）を示します。設定変更を行いプリンタドライバが正常に動作しなくなったときには、次に示す初期値に戻してください。

注）OS のサービスパックや使用環境によっては、インストール時の初期値が下表と異なる場合があります。

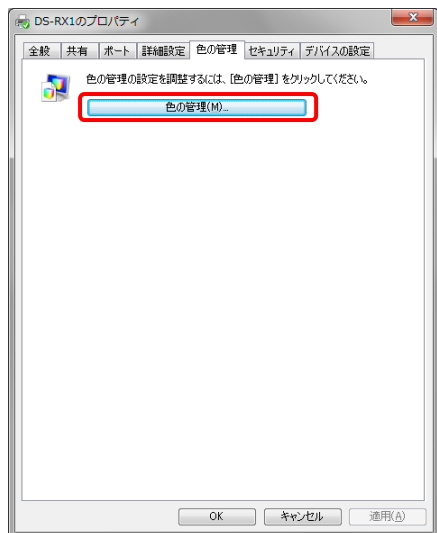
タブ	設定項目			設定値
レイアウト	印刷の向き			縦
	ページの順序			順
	シートごとのページ数			1
用紙/品質	色			カラー
用紙オプション	ふちあり			チェックなし（ふちなし）
	シャープネス			0（初期設定）
	色調整			ICM
色調整	ガンマ			0
	ブライトネス			0
	コントラスト			0
	彩度			0
詳細設定 （レイアウトタブの 「詳細設定」ボタンを クリック）	用紙/出力	用紙サイズ		(6 × 4)
		部数		1
	グラフィックス	印刷品質		300 × 300dpi
		イメージの 色管理	ICM の方法	ホストシステムによる ICM 処理
			ICM の目的	写真
	ドキュメントの オプション	詳細な印刷機能		有効
		シートごとのページレイアウト		左上から右方向
		プリンタの機能	ふちあり	なし
			オーバーコート仕上げ	光沢
			印刷リトライ	無効
			2 インチカット	なし

表 2.3 印刷設定初期値

2.4 色の管理

「色の管理」ではカラープロファイルを指定します。インストーラーはデフォルトで「RX1_xxxx.icc」を関連付けます。xxxx はバージョンを表します。

手順1 プリンタのプロパティから色の管理タブを選択し、色の管理(M) ボタンをクリックします



手順2 デバイスからプリンタ:DS-RX1 を選択します

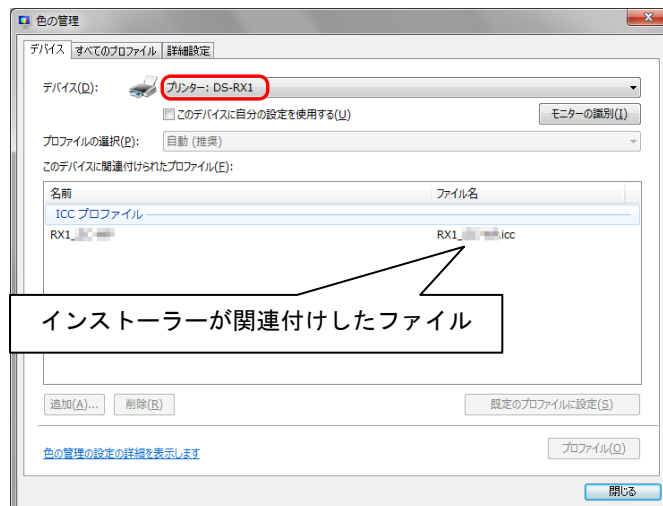


図 2.4 色の管理タブ

2.5 画像サイズ

ドライバの用紙サイズ指定で生成される画像サイズ及びドット数は次のようになります。

用紙サイズ	印刷の向き	画像サイズ (幅 x 高さ)		画像ドット数 (幅 x 高さ)		
		(inch)	(mm)	300 x 300 DPI	300 x 600 DPI	600x600 DPI
(5x3.5)	縦	5" x 3.5"	131.1 x 92.1	1548 x 1088	1548 x 2176	3096 x 2176
	横	3.5" x 5"	92.1 x 131.1	1088 x 1548	2176 x 1548	2176 x 3096
(5x5)	縦	5" x 5"	131.1 x 130.4	1548 x 1540	1548 x 3080	3096 x 3080
	横	5" x 5"	130.4 x 131.1	1540 x 1548	3080 x 1548	3080 x 3096
(6x4) (6x4) x 2	縦	6" x 4"	156.1 x 105.0	1844 x 1240	1844 x 2480	3688 x 2480
	横	4" x 6"	105.0 x 156.1	1240 x 1844	2480 x 1844	2480 x 3688
(5x7)	縦	5" x 7"	131.1 x 181.0	1548 x 2138	1548 x 4276	3096 x 4276
	横	7" x 5"	181.0 x 131.1	2138 x 1548	4276 x 1548	4276 x 3096
(6x6)	縦	6" x 6"	156.1 x 155.4	1844 x 1836	1844 x 3672	3688 x 3672
	横	6" x 6"	155.4 x 156.1	1836 x 1844	3672 x 1844	3672 x 3688
(6x8)	縦	6" x 8"	156.1 x 206.2	1844 x 2436	1844 x 4872	3688 x 4872
	横	8" x 6"	206.2 x 156.1	2436 x 1844	4872 x 1844	4872 x 3688
PR (3.5x5)	縦	3.5" x 5"	92.1 x 131.1	1088 x 1548	2176 x 1548	2176 x 3096
	横	5" x 3.5"	131.1 x 92.1	1548 x 1088	1548 x 2176	3096 x 2176
PR (4x6) PR (4x6) x 2	縦	4" x 6"	105.0 x 156.1	1240 x 1844	2480 x 1844	2480 x 3688
	横	6" x 4"	156.1 x 105.0	1844 x 1240	1844 x 2480	3688 x 2480

2.6 印刷の向き

印刷の向きの指定に於いて、アプリケーションが生成する画像イメージ、印刷物（出力方向）の関係は次表のようになります。生成画像は、アプリケーションが元画像の回転を行わず、2.5 画像サイズに示すサイズ内に収まるよう拡大縮小を行なった場合のイメージです。

元画像	ドライバの設定						
	印刷の向き	用紙設定					
		(5x3.5) (5x5) (6x4) (6x4) x 2 (6x6)		PR (3.5x5) PR (4x6) PR (4x6) x 2		(5x7) (6x8)	
		生成画像	印刷物 (出力方向↓)	生成画像	印刷物 (出力方向↓)	生成画像	印刷物 (出力方向↓)
	縦						
	横						
	縦						
	横						

第3章 ドライバ更新の方法

ドライバの削除は、インストール時と同様に管理者権限でログインして操作を行って下さい。

1. ドライバの削除

- ① プリンタドライバの削除を行う前に、すべてのアプリケーションを終了して下さい。また、デバイスとプリンター画面の削除対象プリンタのアイコンをクリックし、画面下に表示される状態にて、キューにドキュメントが無いことを確認した後、ドライバの削除を開始して下さい。

注意：Windows 8 及び 10 では、プリンタがオフラインの場合（電源をオンにしたプリンタが接続されていない場合）は DS-RX1 のアイコンが表示されません。電源をオンにしたプリンタを接続できない場合は、次ページの手順でデバイスを削除して下さい。

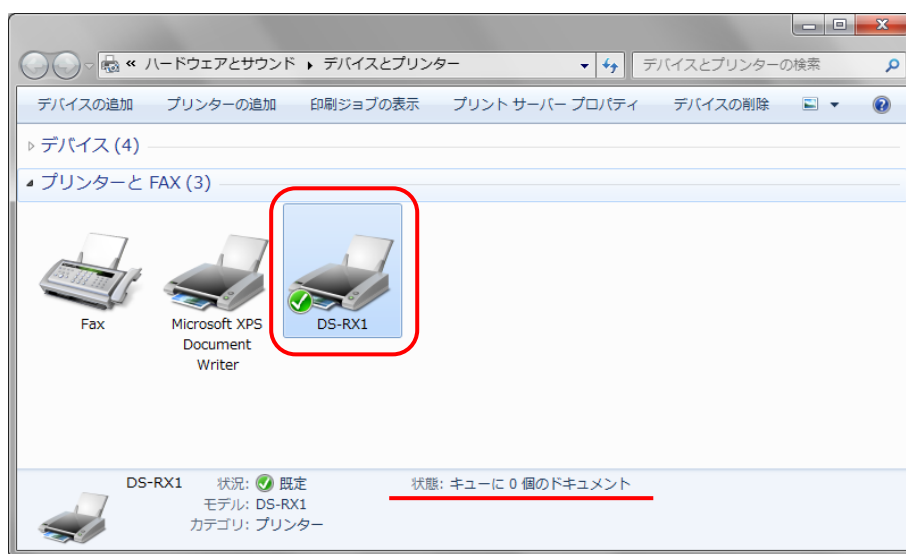


図 3.1 デバイスとプリンター画面にて DS-RX1 アイコンをクリックした画面

- ② 「スタート」-「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルの「デバイスとプリンター」をクリックして下さい。Windows 8 では、スタート画面を右クリックして右下の「すべてのアプリ」を選択し、「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルの「デバイスとプリンター」をクリックして下さい。Windows10 では、スタートを右クリックして右下の「すべてのアプリ」を選択し、「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルの「デバイスとプリンター」をクリックして下さい。デバイスとプリンタ画面より、DS-RX1 プリンタを選択し、右クリックで、プルダウンメニューを表示し、「デバイスの削除 (V)」をクリックして下さい。



図 3.2 デバイスとプリンター画面で DS-RX1 を選択し右クリックした画面

Windows 8 及び 10 では、プリンタがオフラインの場合（電源をオンにしたプリンタが接続されていない場合）は DS-RX1 のアイコンが表示されないため、この場合は以下の手順でデバイスを削除して下さい。

(i) デバイスとプリンター画面の何も無い所を右クリックし「デバイスマネージャー(M)」を選択して下さい。



図 3.2. i デバイスとプリンター画面の何も無い所を右クリックした画面

(ii) 「表示(V)」－「非表示のデバイスの表示(W)」にチェックをつけて下さい。

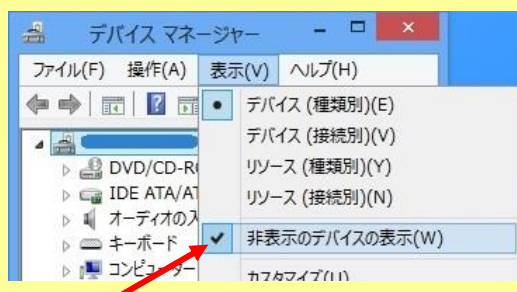


図 3.2. ii 非表示のデバイスの表示メニューを表示した画面

(iii) 「プリンター」－「DS-RX1」を右クリックして、「削除(U)」を選択して下さい。

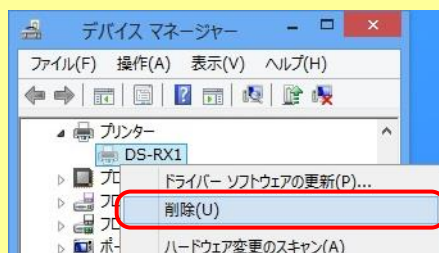


図 3.2. iii DS-RX1 の削除メニューを表示した画面

(iv) 「デバイスのアンインストールの確認」画面で、「OK」を選択して下さい。

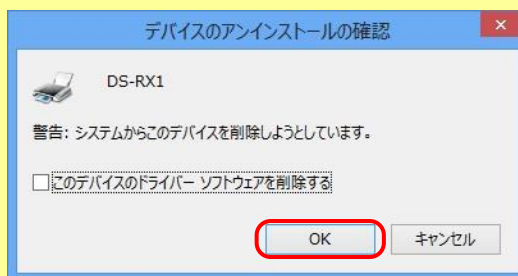


図 3.2. iv デバイスのアンインストールの確認画面

③プリンタ削除確認画面が表示されたら、「はい(Y)」をクリックして下さい。

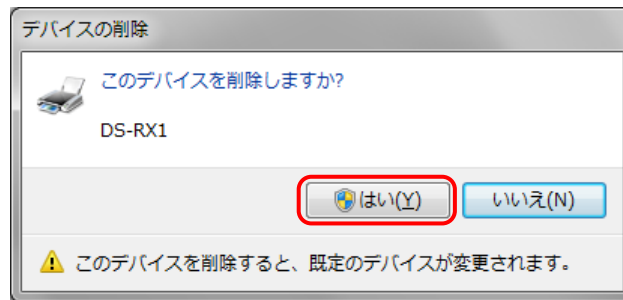


図 3.3 プリンタ削除確認画面

④DS-RX1 プリンタが削除された後、他のプリンタ（例：Fax）を選択し、メニューバーに表示された「プリントサーバープロパティ」をクリックして下さい。

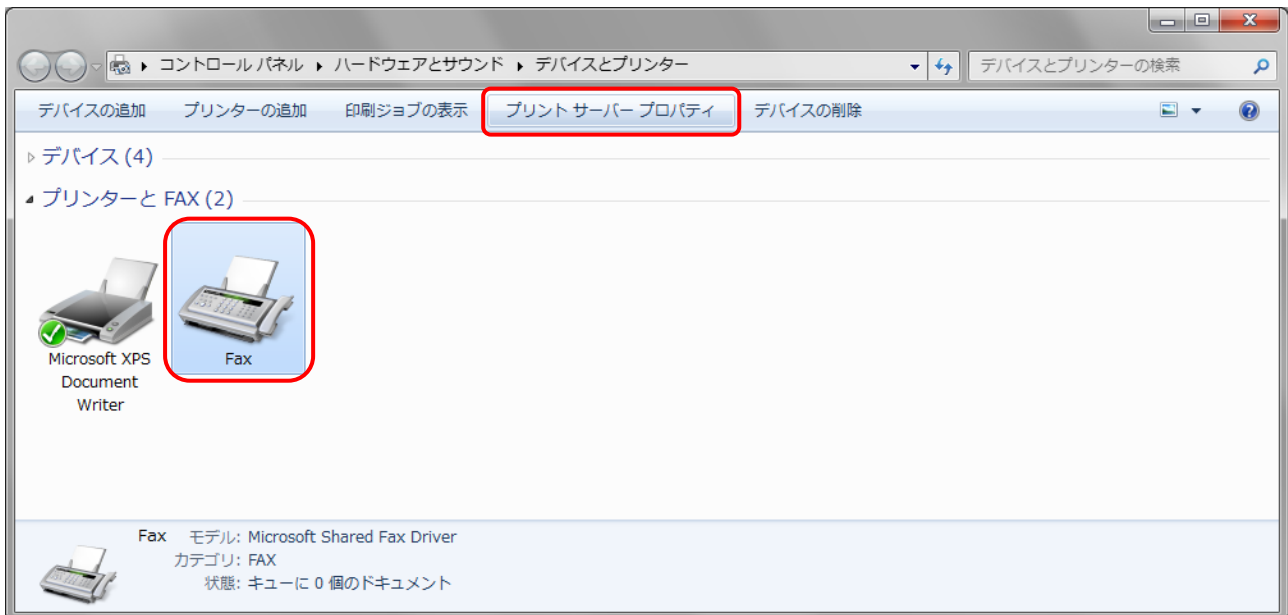


図 3.4 デバイスとプリンター画面でプリントサーバープロパティのメニューを表示した画面

- ⑤ プリントサーバーのプロパティ画面が表示されたら、「ドライバー」タブをクリックして下さい。インストールされたプリンタードライバーの一覧から「DS-RX1」を選択し、「削除(R)」ボタンをクリックして下さい。

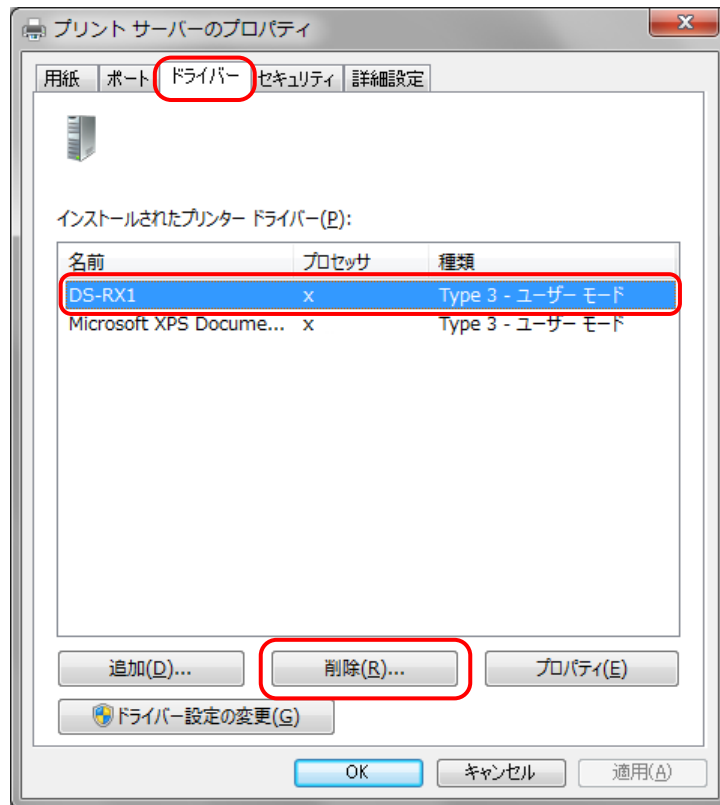


図 3.5 プリントサーバーのプロパティ画面

- ⑥ ドライバーとドライバパッケージの削除選択画面が表示されたら、「ドライバーのみ削除する(R)」を選択し、「OK」ボタンをクリックして下さい。ドライバパッケージの削除は、次項「2. ドライバパッケージのアンインストール」で行います。

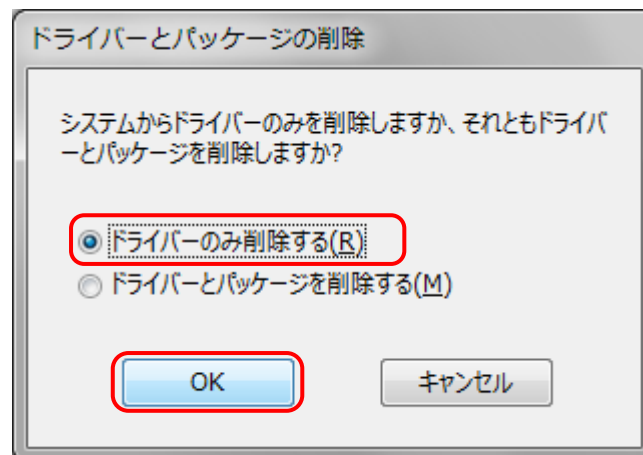


図 3.6 ドライバーとパッケージの削除選択画面

⑦プリントサーバープロパティの確認画面が表示されたら「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。

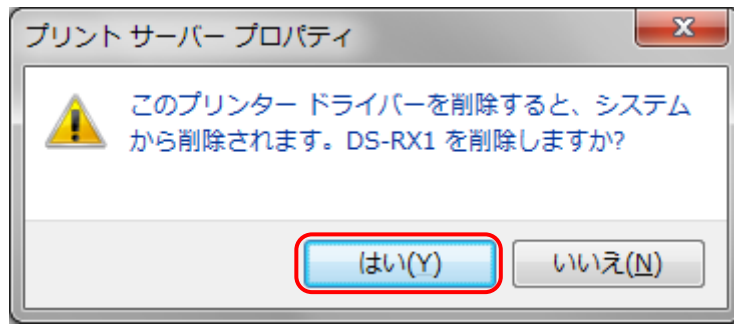


図 3.7 ドライバ削除確認画面

⑧プリントサーバーのプロパティ画面で「DS-RX1」が削除されていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックして下さい。プリンタドライバ削除後は、ドライバパッケージのアンインストールを行って下さい。

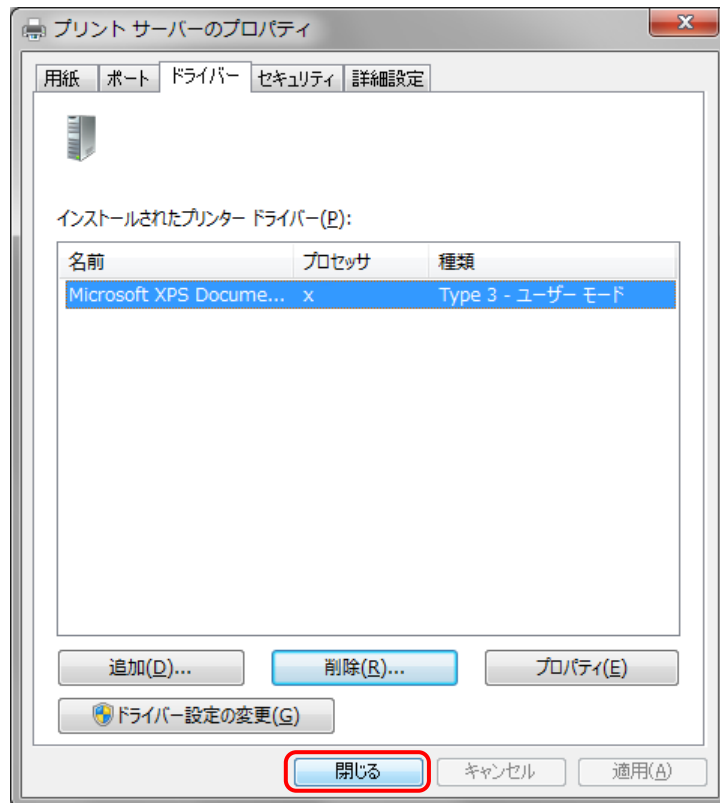


図 3.8 プリントサーバーのプロパティ

2. ドライバパッケージのアンインストール

- ①「スタート」-「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」をクリックして下さい。

Windows 8 では、スタート画面を右クリックして右下の「すべてのアプリ」を選択し、「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルの「プログラムのアンインストール」をクリックして下さい。

Windows 10 では、スタートを右クリックし「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルの「プログラムのアンインストール」をクリックしてください。

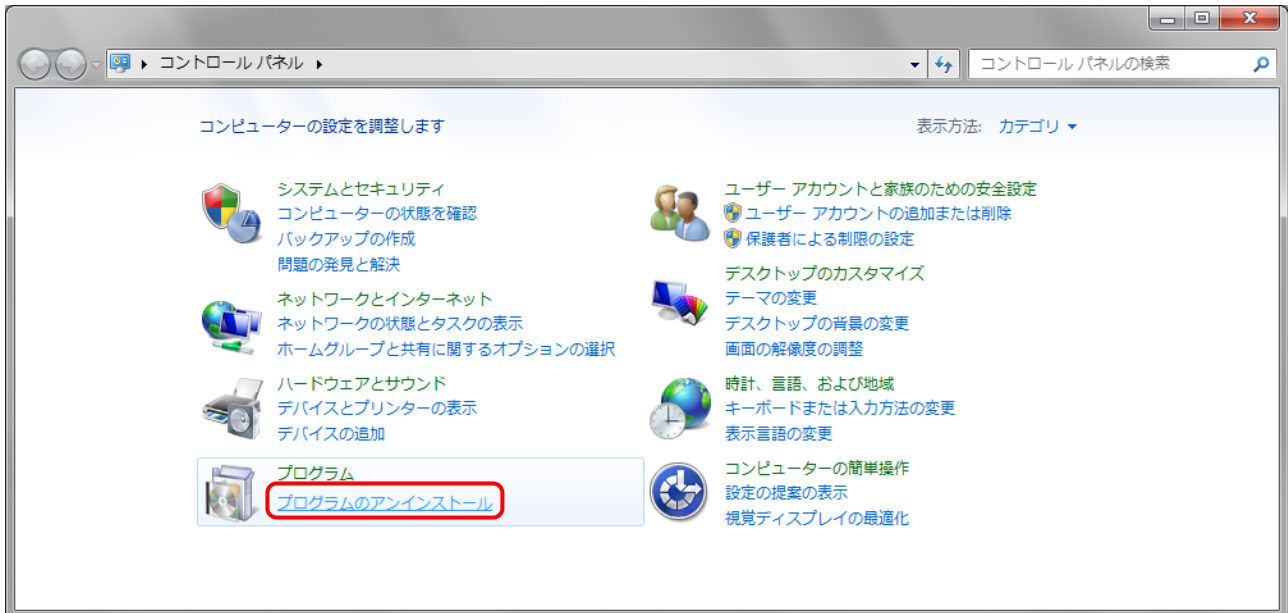


図 3.9 コントロールパネル

- ②「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されたら、一覧の中の「Windows ドライバパッケージ - Dai Nippon Printing DS-RX1 (mm/dd/yyyy x.x.x.x)」(mm/dd/yyyy=日付、x.x.x.x=バージョン)をダブルクリックして下さい。

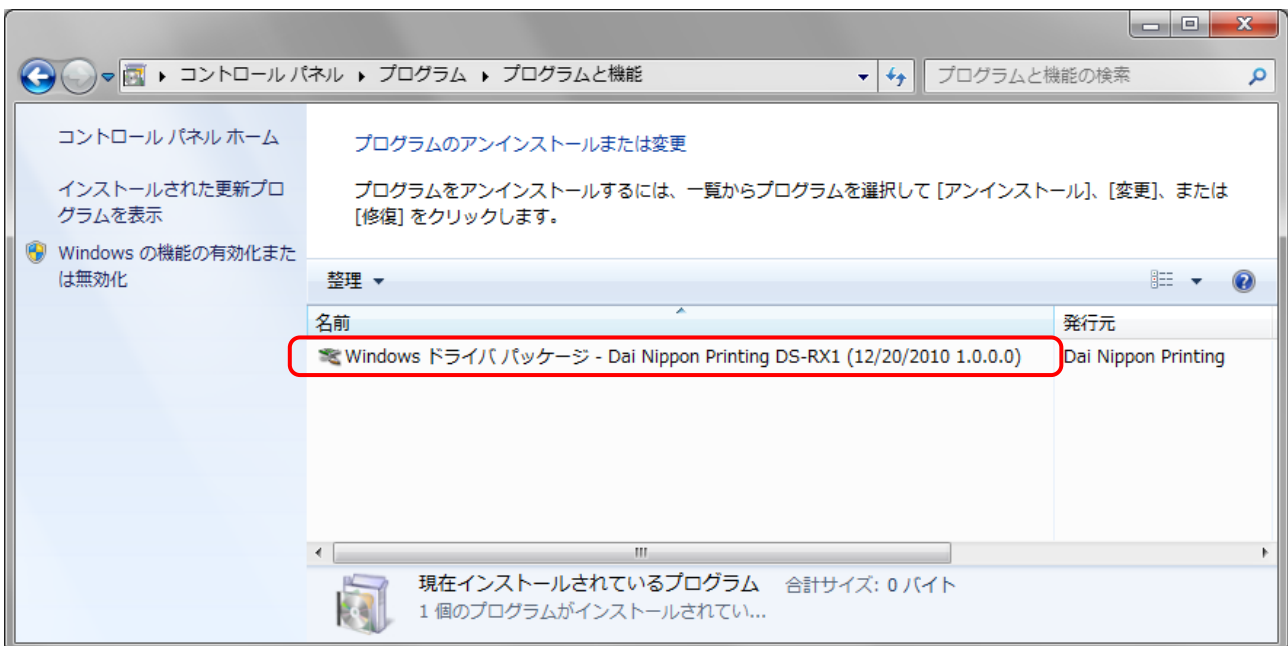


図 3.10 プログラムのアンインストール

- ③ 「ドライバパッケージのアンインストール」画面が表示されたら、「はい(Y)」をクリックして下さい。
アンインストールが完了します。
ドライバパッケージのアンインストール後はパソコンを再起動して下さい。

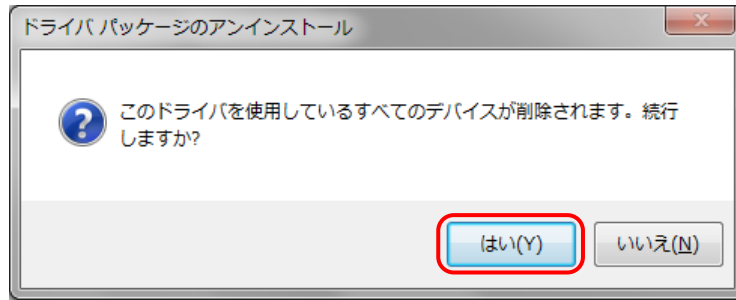


図 3.11 アンインストールの確認

3. プリンタドライバのアップグレードインストール

プリンタとプリンタドライバを削除後、新しいプリンタドライバをインストールして下さい。インストールの手順は、[第1章 インストール] をご覧下さい。

4. パソコンの再起動

プリンタドライバのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。
(インストール直後に印刷を行わないで下さい。必ず1度パソコンを再起動して下さい。)

第4章 ドライバ削除の方法

プリンタドライバを削除する場合の手順は、第3章の“1. ドライバの削除”と“2. ドライバパッケージのアンインストール”をご覧ください。

Dai Nippon Printing Co., Ltd.